



平成29年度 事業報告書

平成29年（2017）4月1日から平成30年（2018）3月31日まで

特定非営利活動法人
近畿環境市民活動相互支援センター
（略称：NPO法人エコネット近畿）

もくじ

事業期間 基本方針・報告	2
1.情報の受発信・交流	5
・1-1 第13回 近畿の環境団体情報交流会 「持続可能な社会・なりわい・暮らし ささやまミーティング」の開催	
・1-2 エコネット・カフェ（環境井戸端会議）の開催	
・1-3 ホームページ、メールニュース、フェイスブック等による情報発信・公開	
・1-4 各展示会への出展	
2.団体・人材育成	10
・2-1 環境市民活動助成金セミナー NPOの資金調達まるわかりセミナーの開催	
・2-2 資金調達に関するスキルアップセミナーの開催	
・2-3 マネジメントセミナーの開催	
・2-4 会員団体への会議室・備品の貸し出し	
3.コーディネート	15
・3-1 企業と環境NPOの協働セミナーの開催	
・3-2 CSRのコーディネート	
4.コンサルティング	16
・4-1 個別相談への対応	
5.統一テーマ活動	18
・5-1 河川流域自然環境再生支援／クリーンアップ活動への協力	
6.その他	19
・6-1 他団体との共催・協力事業の開催	
運営体制	20
・1 役員等の数	
・2 平成29年度総会の開催	
・3 理事会の開催	
・4 運営会議の開催	
会員の推移	22
お礼	24

平成29年度 事業報告書

事業期間

基本方針・報告

事業期間

平成29年（2017）4月1日～平成30年（2018）3月31日

事業報告書のまとめ

今年度は、3ヵ年計画1年目にあたり、まずは、2つの基幹事業である情報交流会、助成金セミナーのプログラムの刷新に取り組みました。

また、「1.情報の受発信・交流」「2.団体・人材育成」「3.コーディネート」「4.コンサルティング」「5.統一テーマ活動」を近畿2府4県の環境活動団体、企業、行政をつなぐ中間支援組織エコネット近畿の役割と考え、自主事業の対象顧客や目的を明確にして基幹事業と相互補完させることで、各事業ともほぼ数値目標を達成したほか、これまで以上に多種多様な団体とのネットワークが広がり、団体設立10年をむかえて会員数が近畿2府4県100人を超えました。

対外的には近畿中国森林管理局・箕面森林ふれあい推進センターとの共催事業の成功や、龍谷大学との地域人材育成に係る相互協力に関する協定の締結、基幹事業の助成金セミナーでの13におよぶ助成財団・行政等の協力、情報交流会ではあらたな共催、協力団体を得て数値目標を達成するなど、広域・多分野にわたる連携体制が築かれた実り多い年度でした。

基幹事業と今年度重点的に取り組んだ個別相談については次のような成果がありました。

「1.情報の受発信・交流」 ～近畿の環境団体情報交流会～

昨年までの3年間、宿泊参加型ミーティングとして開催時期を6月に固定してきましたが、情報交流会を通じて出会った団体の連携も報告されるなか、多くの団体の総会や事業準備に重なり参加が難しい時期を避け、さらなる充実と顧客満足度の向上をめざして2月開催に変更しました。

>> 参加者目標達成100人 顧客満足度20%アップ

その結果、これまで達成しなかった数値目標である参加者100人を達成し、前年比128%の収益増、さらに直後のアンケート結果では、2日間の交流会全体を通しての満足度を「9点～10点の評価人数」で比較すると75%と、昨年63%から12%の上昇がみられました。

>> 活動を継承しけん引する 40代の参加率 著しい伸び 7% → 20%

世代別では、活動を継承し牽引する40代の参加増が著しく、各プログラムの満足度も総じて高いことから、参加者の変容が個々の取り組む活動の変化を導く可能性が見出されました。

事業報告のまとめ

>> 地域・世代・分野を超え SDGs への関心の高まり

「持続可能な社会・なりわい・暮らし」や、SDGsは、次年度も継続して考えを深めたいとの要望が世代を問わず複数よせられ、ニーズに合致したテーマ設定であったことが確認できました。

これらの結果をふまえ、「これからの社会を創る」ために必要な活動へとどうつながったか、参加者の活動の変容の追跡と、テーマのさらなる深化が課題です。

「2.団体・人材育成」環境市民活動助成金セミナー

助成金セミナーでは、異なる成長ステップや規模の団体が同一のセミナーに参加することから、対象顧客や参加助成財団の絞り込みが難しいことが課題でした。

また、資金調達方法や助成制度が多様となり、NPOが団体や活動に適した調達方法や助成制度を取捨選択する際の判断基準となる情報が不足しているように感じられました。

>> プログラムの大幅な変更で参加者目標達成 57人 新規参加率 84%

そこで、繁忙期でありながらも敢えて一日で多様な資金調達法や助成制度を比較検討できるよう「セミナー時間を拡大」し、「講座を選択制にする」ことで異なるニーズに応えられるようプログラムをデザインしました。この結果、目標数を上回る参加があり、しかも、顧客満足度は例年と同水準を維持することができました。

さらに、新規セミナー参加者が84%、申請をしたことのない団体が全体の半数を数え、助成財団とNPOの新たなマッチングの機会となりました。

>> 波及効果 近畿各地で「資金調達セミナー」の開催の広がり

本年は、資金調達に関するセミナーが近畿各地で開催されており、助成金セミナーの開催とそれを補完する形で開催してきた「初めての助成金申請書の書き方講座」や「環境NPOスキルアップセミナー」「水とみどりの環境活動のための助成金セミナー」などの講座の積み上げの波及効果と考えられます。ホームページ上に掲載しているこれらの「講座開催報告」の記事は、2年経過後も助成申請のピーク時にはアクセスがあり、変わらぬニーズの高さを示しています。

事業報告のまとめ

次年度は、同じ形式・プログラムを継続して実施し、今年度の結果と仮定を検証すると同時に、助成財団から、他の制度を知れてよかったという声を反映して、次回は助成財団同士の交流の場も視野にいれるなど、これまでNPOの視点で企画してきましたが、助成財団との関係づくりへつなげられたらと考えています。

「4.コンサルティング」 ～ 個別相談 ～

個別相談業務で最も多かったのが、前年にひきつづき「情報の発信」で、月平均20件を超えるメールニュース等への掲載による情報の拡散依頼が、NPO・任意団体・行政・助成財団から寄せられました。

このため、メールニュースの配信回数を月2回から3～4回に増やしたり、フェイスブックやツイッターなどのSNSも併用してニーズに応えるとともに、「エコネット・メールニュース配信登録・掲載依頼」ページをホームページ上に設け情報提供者の「よくある質問」への対応とあらたな配信希望者の受付を整理しました。

このほか、団体の使途・資金計画に適した「助成制度」の照会や、今年の傾向として、環境活動に積極的にとりくむ「小・中学校」「高校」の照会がありました。

平成28年度NPO法改正にあたり、必要な諸手続き、運営相談に応じる機会が増えつつあり、回答例を用意するなど、平成30年10月の全面施行時は団体をスムーズに支援できる体制で臨んでいます。

今後も、企業とNPOの連携のための情報提供やマッチング、ボランティア募集告知、会員団体情報の発信など、寄せられるご相談や依頼、さまざまな「情報」を整理、分析してより最適な支援プログラムを提供できることが課題です。

平成29年度 事業報告書

1.情報の受発信・ 交流

- ・近畿の持続可能で豊かな社会の実現に関わる情報(提供・仲介)の受発信
- ・環境保全活動のネットワーク構築

1-1 第13回 近畿の環境団体情報交流会 「持続可能な社会・なりわい・暮らし ささやまミーティング」の開催

【目的】①近畿の環境、里山団体、個人が出会い、学び合う場、連携のきっかけを提供する。
②団体の組織運営力の強化、個人のスキルアップを目指す。

【事業概要】地域の環境課題に取り組む活動団体に焦点を当て開催する。様々な団体、個人が分野、立場、世代を超えて集い、自らの啓発と活動の発展のために、自らの活動を「持続可能な社会・なりわい・暮らし」という観点で問い直し、活動を紹介し合い、語り合い、学び合うことを目指す。これからの社会を創る！そんな思いを胸に、ミーティングに集い、ネットワークを広げ、パワーアップする。

【実績】・参加者：100人（一般：48、会員：38、学生：14）／目標数：100人
・男女比：男性 69人、女性 31人 ・収益：前年比 128%増
・新規参加率：75%（新規 75人：リピーター 25人）
・地域別：岩手1、東京1、愛知1、福井2、滋賀4、奈良12、京都14、大阪32、兵庫28、和歌山1、岡山2（単位：人）
・年代別：10代2、20代22、30代14、40代19、50代23、60代16、70代4
・会員獲得数 5 団体・人。
・参加者の満足度：10点満点で10～9点 75%（昨年 56%）アンケート集計結果
・交流会終了後、参加団体同士で互いの団体活動見学など相互交流がはじまった。

【実施日時】平成30年（2018）2月23日（金）・24日（土）（1泊2日）

【実施場所】ユニットピアささやま（兵庫県篠山市）

【対象者】農、林、自然、環境、教育、地域づくり、福祉等の市民活動の実践者・運営者、企業行政等の担当者、大学等の研究者、学生

【参加費】一般 12,000円、会員 11,000円、学生 8,000円

【内容】①オープニングコンサート、アイスブレイク
②テーマ関連活動紹介（テーマゲスト、参加団体）
③全員参加ディスカッション（パネリストあり、なし）
④交流会、分科会、ポスターセッション、ふりかえり
⑤早朝オプションプログラム（任意）

【主催】NPO法人エコネット近畿 / 一般財団法人セブン-イレブン記念財団

【共催】公益社団法人大阪自然環境保全協会

【企画・運営】ささやまミーティング 2018実行委員会

【後援】大阪府、京都府、滋賀県、奈良県、兵庫県、和歌山県

【協力】パナソニックグループ労働組合連合会 休暇村 ユニットピアささやま

【収入】1,479,426円（助成金337,826円、参加費1,112,000円、寄付金29,600円）

【支出】1,250,335円（消耗品費、広告費、賃借料、旅費交通費、他）

【収支差額】 229,091円

1.情報の
受発信・交流

1-2 エコネット・カフェ（環境井戸端会議）の開催

- 【目的】①団体の活動を社会に認知される機会と場の提供。
②興味関心のある分野の情報について他の団体と交流する。
- 【実績】94人（目標 90人）

5/11

「海外研修で学んだこと～環境NPOリーダー海外研修から～」

- 【お 話】片山翠さん（NPO法人こども環境活動支援協会）
新田章伸さん（NPO法人里山倶楽部、NPO法人エコネット近畿）
- 【内 容】今年で20回になるセブン-イレブン記念財団「環境NPOリーダー海外研修」の第19回（2016年）と第1回（2002年）の研修参加者が、訪問先で学んだ「森のようちえん」や、「環境団体のファンドレイジング」を紹介。
- 【実 績】・参加者 6人（目標数15人）
・エコネット・カフェが、環境団体のみならず、環境に関心の高い一般市民や学生が活動に一歩足を踏み入れるきっかけづくりに寄与した。
・実際に海外を拠点に活動をめざす方が参加され、うち1名は今夏活動のため、移住された。
- 【収 支】収入 1,200円（参加費） 支出 3,228円（旅費交通費、会議費）

5/27

「農からの再生」

- 【お 話】森 賢三さん（むすび・ねっと）
- 【内 容】地球温暖化の最後の切り札と言われている農業。話題提供者の自著 / 新刊「農哲学から学ぶ」に基づき、農と向き合うことで見えてくる新たな世界。
- 【実 績】・参加者 22人（目標数15人）
・定員を超える参加者があり、交流の場として活用いただけた。
・新規顧客の参加が半数以上を占めた。
- 【収 支】収入 4,400円（参加費） 支出 1,381円（旅費交通費、会議費）

7/6

「NPO広報誌づくりのポイント」

- 【お 話】黒沢雅善さん（元・朝日新聞記者）
- 【内 容】新聞づくり20年のベテラン編集者をお招きして、「広報誌」記事の書き方を中心にアドバイスをいただきました。
- 【実 績】・参加者 12人（目標数15人）
・分野を問わないテーマを取り上げたことにより、参加する団体に広がりが生まれた。（環境・まちづくり・地域団体）
・内容とタイトルの一致が、よい「場」づくりにつながった。
・広報担当者同士の情報共有、意見交換の場となった。
- 【収 支】収入 5,400円（参加費） 支出 1,266円（旅費交通費、会議費）

1.情報の
受発信・交流

1-2 エコネット・カフェ（環境井戸端会議）の開催

9/27

「サステナブルスクールが取り組んだ「気候変動の教育プログラム」」

- 【お 話】 藤田美保さん（箕面こどもの森学園）
【内 容】 ESD重点校(サステナブルスクール) でもある箕面こどもの森学園で、1学期小中学生が取り組んだ「気候変動の教育プログラム」についてお伝えします。
【実 績】 ・16人（目標15人）
・ESDなど環境教育への関心の高さがうかがわれた。
・新規率 56.2%
・「学校」と「NPO」が出会う場となった。
【収 支】 収入 3,200円（参加費） 支出 2,417円（旅費交通費、会議費）

12/5

「子供たちにもっと生命を伝えたい！

チョウの舞うまちづくり(神戸市長田区)の事例から」

- 【お 話】 橋本敏明さん（シニア種まき隊）
【内 容】 昨年「人間サイズのまちづくり賞」（兵庫県）を受賞した長田区の「ちょうちよの舞うまちづくり」による地域活性化や、子供向けふれあいイベントの事例から生命との出会いを誘うツールづくり。生態を伝えるアニメ上映会。
【実 績】 ・14人（目標15人）
・はじめてファシリテーショングラフィックの手法を用い、意見交換の内容をライブで記録していただき、参加者にとって満足度の高い内容となった。
【収 支】 収入 2,800円（参加費） 支出 2,814円（旅費交通費、会議費）

2/7

「里山・コミュニティ事業をさがそう ～環境・防災・教育の視点から～」

- 【お 話】 平櫛武さん（里山サバイバルクラブ）
【内 容】 里山に関わる「コミュニティ事業の探し方」について、500回を超えるワークショップ（地域座談会）に実施事例をもとに、環境・防災・教育の領域で、現場での経験について発表。
【実 績】 ・24人（目標15人）
・直後のささやまミーティングで発表される内容の紹介もあり、参加者の関心が情報交流会にも向けられて、相互補完的な内容となった。
・分野を問わず組織運営のヒントを得られたとの感想が寄せられた。
・参加費設定を200円から1000円にあげて開催したが、実績は過去最高であり、次年度各回参加費の検討の余地が生まれた。
【収 支】 収入 24,000円（参加費） 支出 20,266（旅費交通費、会議費）

- 【課 題】 ・環境活動団体の交流の場であると同時に、一般の市民・学生など個人の方と団体をつなげる場としての役割も意識した「場」へと発展させる。
・資料代や材料費を徴収することで、内容に幅や深みをもたせる。

【全回収入合計】 41,000円（参加費）

【全回支出合計】 31,372円（旅費交通費、会議費、印刷費）

【収 支 差 額】 9,628円

1.情報の
受発信・交流

1-3 ホームページ、メールニュース、フェイスブック等による情報発信・公開

【目的】 支援する人・団体と支援を求める人・団体を「結ぶ」

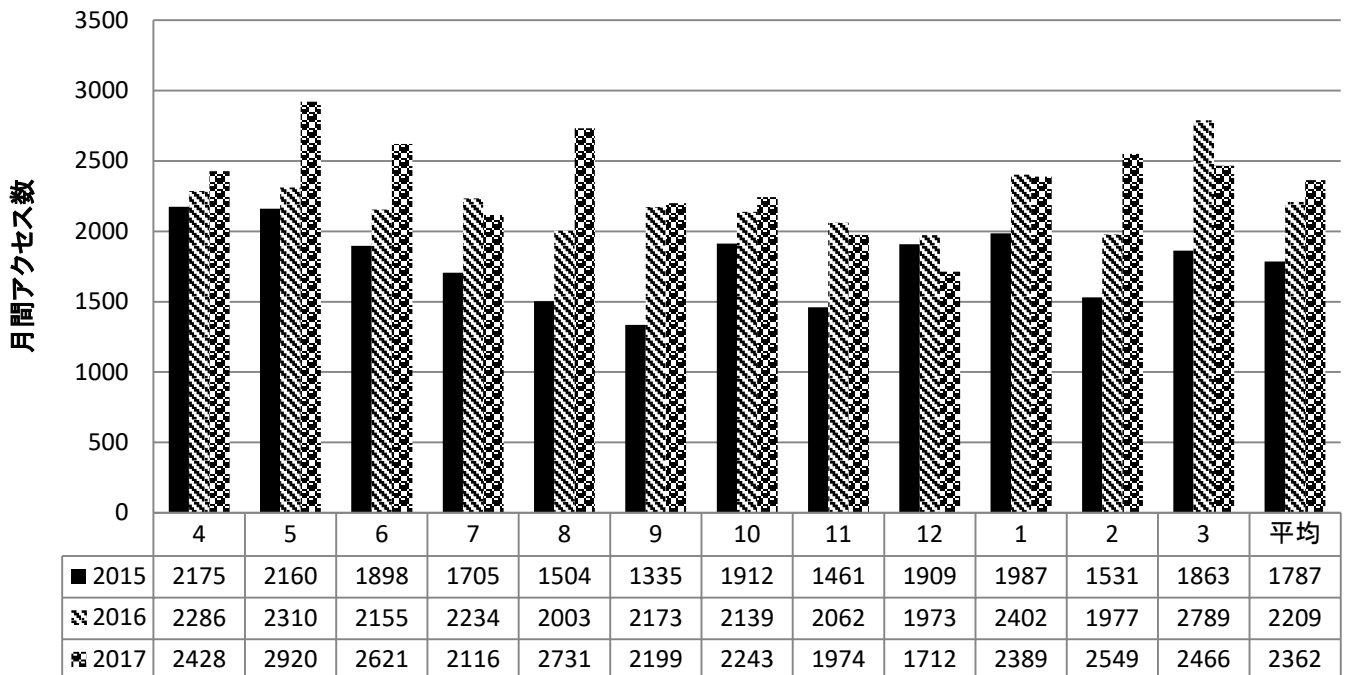
- ①行政、企業、研究機関、環境NPO間の情報発信・交流。
- ②多様な環境活動情報の配信により、環境啓発をはかる。
- ③会員団体の情報発信。
- ④地域資源のリソースマッチング（人材、フィールド、資金等）。

【事業概要】 環境NPO、行政、企業、研究機関、地域住民に対し、環境情報、イベント情報、助成金・補助金情報、ボランティア情報、会員のインタビュー記事等を配信。

【実績】 「顧客」が求める情報を、活用しやすい形で発信する体制を整える。

- ・ホームページアクセス（閲覧者数）：平均 2,362回／月 更新1回／週
- ・メールニュース：月2回＋臨時号 30号 配信数 1,714部（昨年 1,364部）
- ・エコネット近畿会員情報メール：80号（昨年 67号）
- ・フェイスブック：455 いいね！

ホームページ 月間 アクセス数



1.情報の
受発信・交流

1-4 各展示会への出展

- 【目的】①活動の広報および参加者交流。
②環境活動の市民へのひろがりを目指す。

- 【結果】4会場（イベント）
エコネット近畿 会員が主催されるイベント等で、エコネット近畿事業と会員活動の紹介（イベントチラシの配架）を行った。
スタッフとして、参加させていただきながら、関わる多くの団体と出会い、活動のヒアリングの機会となった。

<2017年まるごと爽健説明会・社会貢献活動説明会>

- 【実施日時】平成29年（2017）7月5日（水）
【実施場所】ユニトピアささやま
【主催】パナソニック松愛会
【来場者】約50人
【内容】パナソニック松愛会37支部の社会貢献活動報告会にて「助成金活用情報」の提供。

<第10回 水辺の匠おもしろステージ>

- 【実施日時】平成29年（2017）7月16日（日）・17日（月）
【実施場所】水のめぐみ館ウォーターステーション琵琶（滋賀県大津市）
【主催】ウォーターステーション琵琶の会
【来場者】2,940人
【内容】エコネット近畿 主催事業のパネル展示、スタッフ参加。

<第10回 水辺の匠 クリスマス会>

- 【実施日時】平成29年（2017）12月3日（日）
【実施場所】水のめぐみ館ウォーターステーション琵琶（滋賀県大津市）
【主催】ウォーターステーション琵琶の会
【来場者】1,630人
【内容】エコネット近畿 主催事業のパネル展示、スタッフ参加。

<環境フェスタ in かたの>

- 【実施日時】平成30年（2018）3月11日（日）
【実施場所】星の里いわふね（大阪府交野市）
【主催】交野市民環境会議
【来場者】3,142人
【内容】エコネット近畿 主催事業のパネル展示、スタッフ参加。

2. 団体・人材育成

- ・ 持続可能な社会の形成に向けた地域づくりを行うNPOに対し、活動支援となるセミナーを開催
- ・ 環境NPOや環境活動リーダー、運営スタッフのスキルアップ

2-1 環境市民活動助成金セミナーの開催

- 【目的】 ①環境活動団体が「助成金」をより効率的に活用できるよう情報を提供する。
②志を同じくする助成財団と環境活動団体のより良いパートナーマッチングを目指す。
- 【事業概要】 参加団体の成長ステージにあわせ、助成申請に関する事務力向上や事務局のネットワーク構築の機会として、選択制の講座を助成金セミナーと同日に開催。セミナー終了後も、資金調達に関するスキルアップセミナーや個別相談で補完、団体が資金調達に至ったか、追跡調査し成果の「見える化」に取り組む。
- 【実績】 ・参加者：57人（目標数 50人）
・会員獲得数 6 団体・人。
・参加者の満足度 10点満点で10～9点 39%（昨年 40%）
・申請団体数、採択団体数は、次年度アンケート等にてヒアリング。
・個別相談件数 6団体、採択団体数 2団体。
・補助金・交付金の情報提供ページの開設。
・他のNPOからの事業開催に関する問い合わせ 6件
- 【実施日時】 平成29年（2017）10月14日（土）10：00～17：00
- 【実施場所】 大阪産業創造館 5階 研修室 A・B・C（大阪市）
- 【対象者】 資金調達に関心のある環境NPO、任意団体、行政の方
- 【参加費】 一般 1000円、会員 500円（資料代として）
- 【内容】 ①新しい流れと書き方講座 資金調達の新しい流れ／助成金申請書の書き方講座
②環境市民活動助成金セミナー 事例紹介（2事例）・制度説明（9団体）
③個別質問会
- 【参加助成財団】 株式会社CAMPFIRE、江波千佳税理士事務所、
認定NPO法人サービスグラント、認定NPO法人瀬戸内オリーブ基金、
独立行政法人環境再生保全機構、公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会
公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団、トヨタ株式会社、積水ハウス株式会社
阪急阪神ホールディングス株式会社、大阪府
- 【主催】 NPO法人エコネット近畿 / 一般財団法人セブン-イレブン記念財団
- 【協力】 社会福祉法人大阪ボランティア協会
- 【後援】 大阪府、大阪市
- 【課題】 ・セミナー参加者の変容の測定、測定方法
参加されたNPOの組織基盤の強化につながったかどうか、その成果を測定する。
・助成財団との関係性の深化・つながり方
これまでNPO目線でのセミナー開催に注力してきたが、今後はさらに助成財団との関係性を深めることが次につながる事がわかった。
- 【収入】 206,537円（助成金160,537円、参加費46,000円）
- 【支出】 204,479円（消耗品費、広告費、賃借料、旅費交通費、他）
- 【収支差額】 2,058円

2-2 資金調達に関するスキルアップセミナー① 瀬戸内オリーブ基金 助成制度説明会

- 【目的】①環境活動団体が「助成金」をより効率的に活用できるよう情報を提供する。
②志を同じくする助成財団と環境活動団体のより良いパートナーマッチングを目指す。
- 【事業概要】助成金セミナーの補完事業として位置づけ、資金調達についての考え方と設計についての情報提供とスキルアップを目指して頂く。
特にはじめて助成金申請を考えておられる団体など、年間を通じ個々の団体の成長プロセス（立ち上げ期、成長期、拡大期）や団体の規模、ニーズに合わせ、助成財団をお招きして「個別の助成制度説明会」を開催し、よりきめ細やかな支援を目指す。
- 【実績】・参加者 3団体（目標数 10人）
・会員獲得数 0。
・参加者は、すべてが申請を前提に参加。
セミナー終了後に申請書のアドバイス1件
採択数 1団体、他の助成制度に申請した団体 2団体。
・採択団体の事例紹介と、「採択事例」「不採択事例」「期待される事例」の提示でより具体的に申請のイメージをつかみ申請へとつなぐことができた。
- 【実施日時】平成29年（2017）6月23日 13：00～15：00
- 【場所】エコネット近畿 事務所
- 【対象者】はじめて助成金申請をする方、これからNPOを立ち上げたい方
- 【参加者】一般 500円、会員 無料
- 【講師】伴場 一昭氏（NPO法人 瀬戸内オリーブ基金 事務局）
- 【内容】①制度の成り立ち
②「採択事例」「不採択事例」「期待される事例」の紹介
③助成制度の採択を受けた団体による事例発表
フォレスター松寿 小川雅由氏、永井唯晴氏
③申請書の書き方
④質疑応答
- 【協力】認定NPO法人瀬戸内オリーブ基金、フォレスター松寿
- 【主催】NPO法人エコネット近畿
- 【課題】活動の分野を問わず、一般的な「助成申請」に応用できる内容であることを広報し、より多くの団体の組織基盤強化につなげる。
- 【収入】 0円（参加費）
- 【支出】 1,360円（旅費交通費）
- 【収支差額】 ▲1,360円

2-2 資金調達に関するスキルアップセミナー② 事業計画書・予算書の書き方講座

【目的】①環境活動団体が「助成金」をより効率的に活用できるよう情報を提供する。
②志を同じくする助成財団と環境活動団体のより良いパートナーマッチングを目指す。

【事業概要】助成金セミナーの補完事業として位置づけ、資金調達についての考え方と設計についての情報提供とスキルアップを目指して頂く。
特にはじめて助成金申請を考えておられる団体など、年間を通じ個々の団体の成長プロセス（立ち上げ期、成長期、拡大期）や団体の規模、ニーズに合わせ、助成財団をお招きして「個別の助成制度説明会」を開催し、よりきめ細やかな支援を目指す。

【目標】・参加者目標数：10人
・会員2人の獲得。
・参加者が助成申請に関する知識やスキルを身につけ、助成金を活用して事業を実施し地域社会に貢献される。（5団体程度）
・助成申請に関する相談の「場」として、相談件数が増える。（昨年10件程度）
・成果の「見える化」により、NPOと助成財団の両者にとって魅力的な助成制度の提言ができ、地域の資金循環が生まれることが最終目標。

【実施日時】開催の次年度への延期

【場所】エコネット近畿 事務所

【対象者】はじめて助成金申請をする方、これからNPOを立ち上げたい方

【参加者】一般 500円、会員 無料

【内容】①事業計画の策定
②予算書の策定
③資金調達計画の策定

【協力】助成財団、日本政策金融公庫（創業支援課）、中小企業診断士 など

【主催】NPO法人エコネット近畿

助成金セミナーの補完事業として位置づけ、「事業計画書、予算書のたて方」をメインに、申請書だけではなく、総会における資料作成のスキルアップをめざすとともに、資金調達法の1つである「融資」についての情報も紹介できるセミナーとして、企画を充実させるため次年度以降へ持ち越し開催することを決定した。

2-3 マネージメントセミナー

- 【目的】①近畿の環境団体の「組織運営力」のスキルアップによる活動の活性化。
②組織において運営のコアな部分に関わるスタッフ育成。
- 【事業概要】環境NPOが社会の変化に対応し、「事業計画」「人材育成」「資金調達」「ニーズ分析」「組織マネジメント」のほか、「NPO会計」等の実務のスキルアップをめざしていただくためのワークショップ、講座を織り交ぜ体系的に実践力を養う。
- 【実績】・参加者数 12人（目標数10人）
・アンケート結果から「とても得るものがあった（83%）」「少し得るものがあった（17%）」との評価があった。
・環境NPOスキルアップセミナー（3回講座）に参加された方が、今回再受講されており、前回の満足度の高さを表している。（リピーター：50%）
・互いの団体を知る（PRする）良い機会となり、交流をはかれた。
・参加者のセミナーに対する具体的な要望を集約することができた。
- 【実施日時】平成29年（2017）6月15日（木）18：30～20：30
- 【実施場所】エコネット近畿 事務所
- 【対象者】スキルアップをめざす団体運営スタッフ
- 【参加費】1,000円（資料代、実費）
- 【講師】林田 全弘氏（小さなNPOを応援するデザイナー）
- 【内容】団体の「活動」やその「魅力」をわかりやすいことばで読み手に「伝える」キャッチコピーづくりの過程で、団体の「価値」に気づき伝わりやすくする方法を学んだ。
- 【課題】・同じテーマで複数回開催すれば、学びが深くなり実践へとつながりやすくなる。
- 【収入】12,000円（参加費）
- 【支出】14,441円（旅費交通費、会議費）
- 【収支差額】▲2,441円

2. 団体・人材育成

2-4 会員団体への会議室・備品の貸出

【事業概要】 会議室・備品の貸出などの支援により、少人数のセミナーを開催し活動を広めていただく機会と場を提供する。

会議室利用のご案内

エコネット近畿では、会議室の貸室を行っています。
環境に関する学習活動や、研修、会議の場としてご利用ください。



- 開館時間 ● 平日 9時30分～18時30分まで
- 受付電話 ● 06-6881-1133
- 受付時間 ● 平日 9時30分～18時30分まで
- 定 員 ● 18人 床面積 30㎡×1室

申込方法

- 1、電話にて、会議室の空き状況を確認してください。
- 2、使用目的と人数、時間帯をお知らせください。
- 3、2か月先までのご予約をお受けいたします。

会議室利用時間について

利用時間	平日 9時30分～18時30分（夜間は要問合せ）	<ul style="list-style-type: none"> ・申請された使用時間内で準備・後片付けを行ってください。 ・開館時間以外でご利用の際は、事務局にご相談ください。 ・館内は禁煙となっておりますので、喫煙はしないでください。 ・期間により「冷暖房装置に係る加算額」を別途徴収する場合があります。
正会員	無 料	
賛助会員	無 料	
一 般	ご利用いただけません	

付属設備について

長机	6台	<ol style="list-style-type: none"> 1、パソコンは、各自ご持参ください。 2、会議室は、WiFiをご利用いただけます。 3、施設・器具等を紛失したり、き損した時は、速やかに事務局に申し出てください。 なお、この場合、使用者に損害を賠償していただく場合があります。 4、左記以外に必要な設備はご相談ください。
椅子	18脚	
ホワイトボード（可動式）	1台	

湯沸かしポット	1台	
マグカップ	15客	
急須	1個	

お申込・お問合せ エコネット近畿 事務局

530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1-14
サンプラザ南森町 401

☎ 06-6881-1133

【収 入】 0円（会員対象にて無料）
【支 出】 0円
【収支差額】 0円

会議室貸出 51件

年 月	回数	利用者数
平成29年 4月	5	41
5月	5	39
6月	4	30
7月	5	43
8月	3	26
9月	2	17
10月	3	23
11月	4	40
12月	4	35
平成30年 1月	3	23
2月	5	30
3月	8	50
合 計	51	397

備品貸出 19件

備品（ごみハサミ）	4件 / 240本
エコ☆スカ2017（1回）	60本
天神祭ごみゼロ大作戦	100本
ブルーサンタ	20本
おお川水辺クラブ	60本
その他の備品貸出件数	12件
机、椅子、名札、プロジェクター、ブルーシート、卓上ベル、台車、秤、タイム管理シート、救急セット	

3.コーディネート

- ・近畿で環境活動を行うNPO、企業、行政のネットワークの構築支援
- ・環境活動における地域間、分野間の協働推進
- ・環境活動資源交流（人、モノ、資金、情報、マネジメント、専門スキル）

3-1 企業と環境NPOの協働セミナーの開催

- 【目的】 ①企業とNPO、行政の連携・協働事例から新しい協働のヒントを得て頂く。
②企業とNPO、行政の協働を考える場、出会いの場を提供する。
- 【事業概要】 企業や行政、地域の方に、環境NPOの活動を認知して頂く機会として場を提供すると共に、潜在的な協働のニーズやウォンツを探る場とする。
- 【実績】 参加者数 23人（企業 2人、NPO 17人、行政 4人） / 目標数 30人
会員数 4団体・人（特典により平成30年度会員として3人入会）
情報交流会につながる意見交換ができた。
- 【実施日時】 平成30年（2018）1月30日（火）14：30～16：30（予定）
- 【実施場所】 大阪産業創造館 5階 研修室A・B
- 【対象者】 協働に関心のある企業、行政、環境NPO
- 【内容】 ①環境分野における、異なるセクター間の協働事例発表
②パネルディスカッション
- 【参加費】 一般 3000円、会員・学生 1000円
- 【発表団体】（企業）
一般財団法人セブン-イレブン記念財団、阪急阪神ホールディングス株式会社
（NPO）
大阪湾沿岸域環境創造研究センター、NPO法人サウンドウッズ
コーディネーター：小野弘人氏（セブン-イレブン記念財団・エコネット近畿）
- 【収入】 45,000円（助成金、参加費）
- 【支出】 35,127円（消耗品費、広告費、賃借料、旅費交通費、他）
- 【収支差額】 9,873円

3-2 CSRのコーディネート

- 【目的】 企業と環境NPOの協働を促進する。
- 【事業概要】 環境活動を推進しようとする企業に対し、連携する環境NPOの紹介や環境活動へ助言や支援を行う。また、持続可能な環境活動のため地域資源の紹介やマッチングを行い、企業と環境NPOの交流をはかる。
- 【実績】 ①CSRとして取り組む環境学習への協力者、協力団体の紹介 1件
②助成財団に対する申請状況のヒアリング（電話、メールなど）5件
③申請書の配布に協力いただいた中間支援に対する申請情報のヒアリング 2件
④助成制度資料を送付した団体への進捗状況のヒアリング 3団体

4.コンサルティング

- ・持続可能な地域づくりを行う環境NPO、企業、行政に対し、各相談に応じ助言や紹介、支援を行う
- ・環境活動をすすめる際に必要な支援を受けたり、情報を入手できる場となる

4-1 個別相談への対応

- 【目的】①環境NPOが抱える個別の課題に共に向き合い、解決への糸口を見出す。
 ②団体内の課題を解決することで、活動の活性化を促す。
 ③相談内容から共通課題を抽出し、支援事業を実施する。
- 【事業概要】環境活動をしている団体、または、これから環境活動を始めたいと考える個人に対し、電話やメール、ファクス、来所にて随時相談を受け付ける。
 また、各セクターが地域で環境活動を推進しようとする際に必要な情報を提供。
- 【結果】対応件数:432件（昨年：321件、一昨年：271件）
- ・広報支援依頼：230件（昨年：228件、一昨年：120件）
 イベント情報等メールニュース、HPへの掲載依頼、チラシの配架依頼。
 - ・資金調達についての相談：55件（昨年：31件、一昨年：21件）
 助成金申請書のアドバイス（6件）、助成金情報の問合せ、推薦状の発行。
 - ・地域資源マッチング：70件
 ネットワーク（団体や個人の照会など）、資源提供（場所など）
 - ・マネジメント、協働、ノウハウ、専門性に関する相談：77件（昨年：29件）
 NPO設立・運営に関する相談、定款の変更、役員変更手続・事務所移転登記。

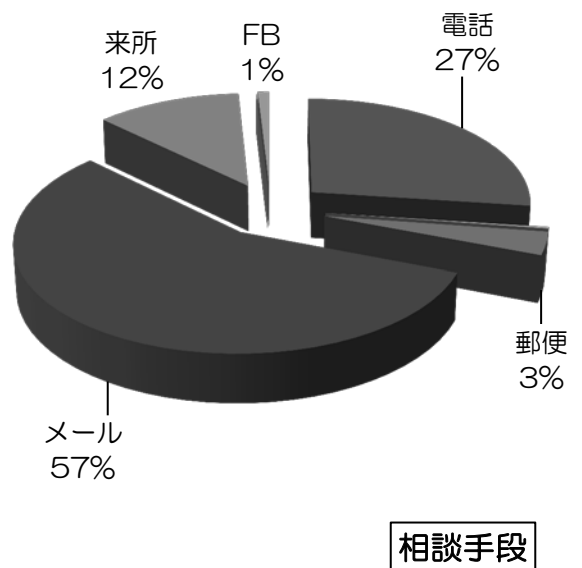
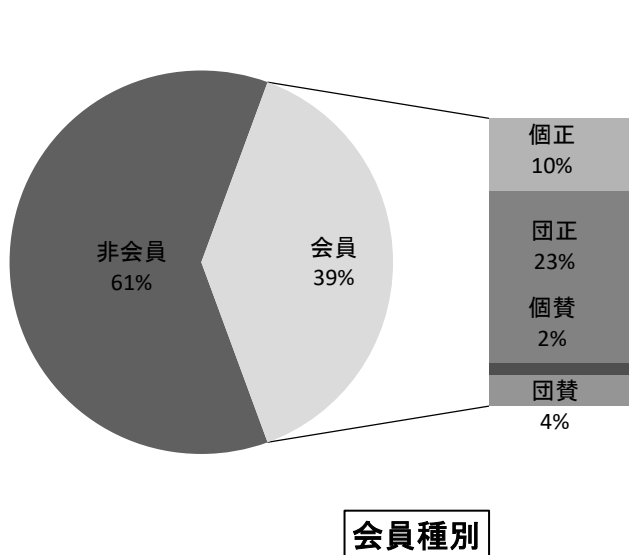
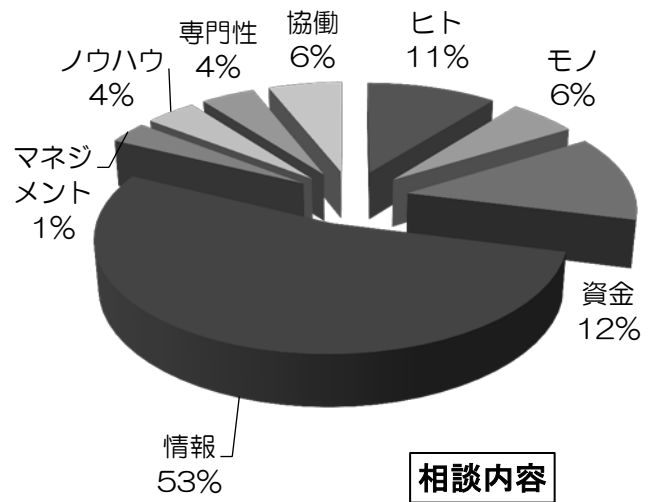
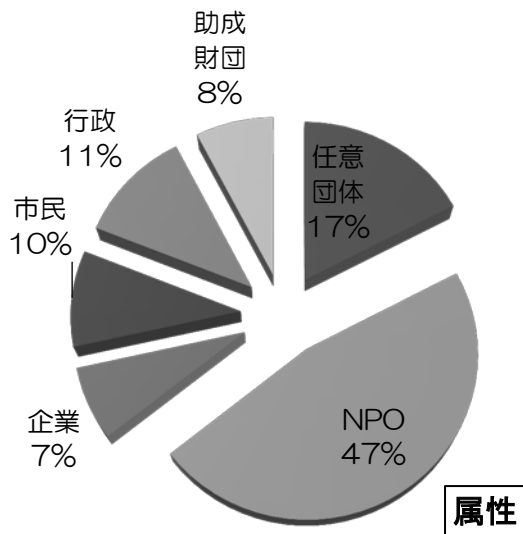
		分類					
		任意団体	NPO団体	企業	市民	行政	助成財団
合計件数	432	75	203	31	41	49	33
比率	100%	17.36%	46.99%	7.18%	9.49%	11.34%	7.64%
平成28年度件数	321	43	170	24	21	42	21
前年比	35%	74%	19%	29%	95%	17%	57%

		項目							
		ヒト	モノ	資金	情報	マネジメント	ノウハウ	専門性	協働
合計件数	432	46	24	55	230	14	18	19	26
比率	100%	10.65%	5.56%	12.73%	53.24%	3.24%	4.17%	4.40%	6.02%
平成28年度件数	321	24	9	31	228	1	13	9	6
前年比	35%	92%	167%	77%	1%	1300%	38%	111%	333%

		会員別					
		非会員	会員	個人正会員	団体正会員	個人賛助会員	団体賛助会員
合計件数	432	264	168	44	100	7	17
比率	100%	61.1%	38.9%	10.2%	23.1%	1.6%	3.9%
平成28年度件数	321	226	95	23	48	10	14
前年比	35%	17%	77%	91%	108%	-30%	21%

4.コンサルティング

4-1 個別相談への対応



個正：個人正会員（26%）、個賛：個人賛助会員（5%）
 団正：団体正会員（59%）、団賛：団体賛助会員（10%）

5.統一テーマ活動

- ・近畿の持続可能で豊かな社会の実現に向けて、地域や分野を越えて、個別団体の活動をつなげる

5-1 河川流域自然環境再生支援／クリーンアップ活動への協力

【目的】①環境啓発活動として地域と連携した一斉活動（一斉調査、一斉清掃等）を行う。
②NPO活動の「見える化」と「活性化」。

【事業概要】「きれいな水辺でつながろう～びわ湖・淀川クリーンアップ」をキャッチフレーズに、NPO活動の「活性化」「見える化」を支援することで、広く市民に環境問題への気づきを広め、地域住民の生活環境の改善を図る。
地域で実施する一斉清掃に、ごみハサミの貸出や広報による協力を行ったり、Webサイト上に、クリーンアップ活動団体情報やイベント情報を掲載。

【実績】・海ごみ関連の情報掲載
・全国川ごみ拾いアンケート調査 広報協力

【実施日時】随時

【対象者】近畿の河川流域で活動しているNPO/企業・行政・専門家および住民

【内容】Webサイトへの情報掲載

【収入】▲21,656円（エコポイント寄付より拠出）

【支出】21,656円（通信費、支払手数料）

※エコポイント寄附からの支出。詳細については、財務諸表の注記下段用途制限のある寄附参照。

<HORIKAWA エコ★スカ 2017>協力活動

【日時】平成29年（2017）12月9日（土）10：00～17：00

【実績】総数50人（近隣の企業、学生、任意団体、個人など）
地域の地縁組織や企業、環境以外の分野の団体とのネットワークができた。

【場所】大阪市北区堀川地区

【内容】北区堀川地域の地縁組織、企業、任意団体、
大阪市北区まちづくりセンターと連携
「調査・ゲーム型ごみ拾い」のスタッフとして活動。
地域一斉清掃：1チーム5人制のチーム対抗ごみ拾い
小型家電回収：家で眠っている不要小型家電を回収!

【主催】HORIKAWAエコ☆スカ実行委員会

【協力】堀川地域活動協議会、堀川連合振興町会、
堀川地区社会福祉協議会、堀川女性会
堀川小学校、NPO法人ダカー歩、Caféくるみ、
NPO法人エコネット近畿

6-1 他団体との共催・協力事業の開催

i. 森林環境教育（森林ESD）活動報告・意見交換会

- 【実績】・125人（75団体、9都道府県）／ 目標100人
・近畿を超え、中国エリアに及び団体との情報共有ができた。
・情報交流会のチラシを手にされ、参加して下さった。（3名）
・森のようちえんの参加により、森林環境教育のすそ野が幅広い年齢層に広がりを見せ、近畿中国森林管理局とこれまで直接的な関わりがなかった団体・個人の集客があった。

【実施日時】平成29年（2017）1月28日（土）10：00～17：00

【場所】近畿中国森林管理局 大会議室

【対象者】森林環境教育に取り組む団体・教育機関、関心のある団体・教育機関

- 【内容】①講演
②活動報告発表：8事例／12団体
③パネルディスカッション
④参加者交流
「小学校教科書、森林・林業に関する副読本等の展示」

【主催】林野庁近畿中国森林管理局箕面森林ふれあい推進センター
【共催】公益社団法人国土緑化推進機構、NPO法人エコネット近畿
【後援】文部科学省、きんき環境館、大阪府、
国立大学法人京都教育大学、大阪青山大学、
全国緑の少年団連盟、経団連自然保護協議会

- 【課題点】・森林ESDについて、3年の取り組みが終わり、次年度以降この成果をどう継承し、発展させるかが課題。
・幼児期に取り組むことができる「森林環境教育プログラム」の開発。
その実践者による事例発表の掘り起こし。

【改善点】主催事業で築いた多様なセクターへの呼びかけ。

【収入】0円（助成金、参加費）

【支出】0円（消耗品費、広告費、賃借料、旅費交通費他）

- ・新理事をむかえて、3カ年計画の1年目の始動

1 役員等の数

- ・理事長 1人
- ・副理事長 1人
- ・理事 15人
- ・監事 2人

2 平成29年度総会の開催

【実施日時】平成29年（2017）5月20日（土）15：20～16：20

【実施場所】大阪市中央公会堂 地下一階 大会議室

【対象者】エコネット近畿 正会員

【内容】審議事項

第1号議案	平成28年度 事業報告書	承認の件
第2号議案	平成28年度 活動計算書、監査報告	承認の件
第3号議案	平成29年度 事業報告書	承認の件
第4号議案	平成29年度 活動予算書	承認の件
第5号議案	NPO法改正による定款変更の件	
第6号議案	平成29年度 役員選任の件	

3 理事会の開催

第34回定例理事会

【実施日時】平成29年（2017）4月19日（水）18：30～20：30

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【出席者数】14人（本人出席 11人、書面表決 3人）

【内容】平成29年度総会審議事項

第35回定例理事会

【実施日時】平成29年（2017）5月20日（土）16：30～16：50

【実施場所】大阪市中央公会堂 地下一階 大会議室

【出席者数】12人（本人出席 12人）

【内容】理事長の互選

第36回定例理事会

【実施日時】平成29年（2017）7月14日（土）19：10～22：30

【実施場所】大阪市中央公会堂 地下一階 大会議室

【出席者数】9人（本人出席 8人、書面表決 1人）

【内容】平成29年度エコネット近畿 事業スケジュール、後援名義使用申請の承認

- ・事務局業務の改善、簡略化、企画立案提言力強化のため、プロジェクトチームの新設

3 理事会の開催

第37回定例理事会

- 【実施日時】平成29年（2017）9月29日（土）19：30～22：00
- 【実施場所】エコネット近畿 事務所
- 【出席者数】11人（本人出席）
- 【内 容】平成29年度事業報告書、活動計算書
平成30年度事業計画書、活動予算書

第38回定例理事会

- 【実施日時】平成29年（2017）12月7日（木）19：00～21：00
- 【実施場所】エコネット近畿 事務所
- 【出席者数】15人（本人出席 10人、書面表決 5人）
- 【内 容】平成29年度事業報告書、活動計算書
平成30年度事業計画書、活動予算書、事務局業務改善プロジェクト

第39回定例理事会

- 【実施日時】平成29年（2018）1月30日（火）19：00～21：00
- 【実施場所】エコネット近畿 事務所
- 【出席者数】14人（本人出席 10人、書面表決 4人）
セブン-イレブン記念財団 事務局長 星氏 同席
- 【内 容】平成29年度事業報告書、活動計算書
平成30年度事業計画書、活動予算書
総会内容について

4 運営会議の開催

- ・今期は、開催なし

5 業務改善プロジェクト

- ・エコネット近畿の業務改善を目的に、理事および会員によるプロジェクトチームと事務局で構成するメンバーで、現状の把握、改善が必要とされる業務の洗い出しを行った。
- ・次年度以降、改善による効率化にむけ、現在もプロジェクトが進行中。

【時 期】聞き取り：平成29年5月～6月、
検 証：平成29年12月～平成30年1月

【収 入】▲323,834円（自己資金から拠出）

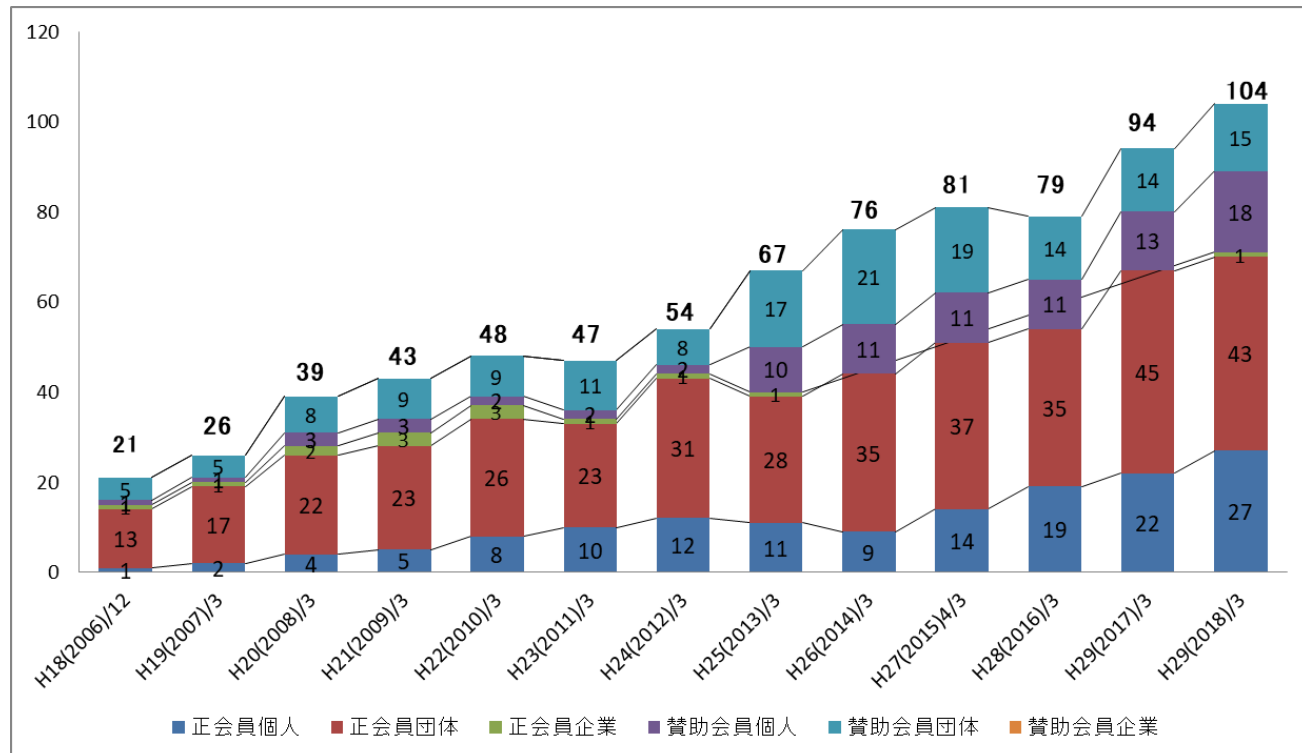
【支 出】323,834円（臨時雇用賃金、旅費交通費他）

会員数の推移

会員数の推移

昨年の総会での会員制度の見直し（入会金の廃止、会議室の無料貸出など）の結果、既存会員は「個人会員から団体会員」への種別変更、新規入会者は「賛助会員より正会員」を選択する方が増える傾向がみられた。

会員			平成28年度 期末	平成29年度 期末	前年比	平成29年度 期首計画	達成率
	正会員	団体		22	27	22.7% ↑	42
個人			45	43	▲ 4% ↑	44	97.7%
企業			0	1	100%	2	50%
賛助会員	団体		13	18	38.4% ↑	14	128%
	個人		14	15	7.1% ↑	16	93.7%
	企業		0	0	—	2	0%
合計			94人	104人	7% ↑	120人	86.6%



会員数の推移

会員数の推移

【目 標】 昨年度の会員制度の見直しを受け、既存会員が会員種別を「賛助会員から正会員」、また「個人会員から団体会員へ」とステップアップされる傾向があったことから、今年度も会員特典をアピールしステップアップを促していく。

【成 果】

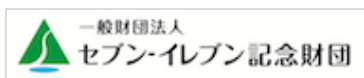
- ・団体に所属する方の多くが、「個人会員よりも団体会員」への加入を選択され、結果として、個人会員より団体会員の伸び率が高くなった。
- ・企業の入会があった。
- ・主催事業に複数回参加された後に、基幹事業である助成金セミナーや情報交流会の開催にあわせ、入会されるケースが大半をしめており、事業に対する共感やそのメリット、満足度の表れとも考えられる。

【入 会】 平成29年4月～平成30年3月


- 正会員 (団体) ふるさとの原風景再生プロジェクト太市の郷 (おおいちのさと) 兵庫県姫路市
- ケイゾクエナジー 大阪府大阪市
- しまもと環境・未来ネット 大阪府三島郡
- 認定NPO法人 瀬戸内オリーブ基金 香川県小豆郡
- 公益社団法人 大阪自然環境保全協会 大阪府大阪市 計5団体
- 正会員 (個人) 5名
- 正会員 (企業) 谷林業株式会社 奈良県葛城郡
- 賛助会員 (団体) アースパルKOBE 兵庫県神戸市
- 交野環境みどりネット 大阪府交野市
- NPO法人サウンドウッズ 兵庫県丹波市
- 豊能町ふるさとおこし協議会 大阪府豊能郡
- 白秋コンクール準備委員会 大阪府高槻市 計6団体
- 賛助会員 (個人) 3名

セミナー登壇者 ・ 実行委員

- エコネット・カフェ
 <登壇者>
 片山 翠
 (NPO法人こども環境活度支援協会)
 新田 章伸 (里山倶楽部)
 森 賢三 (むすびねっと)
 黒沢 雅善 (元朝日新聞記者)
 藤田 美保 (箕面こどもの森学園)
 橋本 敏明 (シニア種まき隊)
 平櫛 武 (キタイ設計株式会社)
- マネジメントセミナー
 <登壇者>
 林田 全弘
 (小さなNPOを応援するデザイナー)
- 資金調達に関するスキルアップセミナー
 <登壇者>
 認定NPO法人瀬戸内オリーブ基金
 パナソニック松寿会
- 環境市民活動助成金セミナー
 <登壇者>
 株式会社Campfire
 江波千佳税理士事務所
 認定NPO法人サービスグラント
 一般財団法人セブン-イレブン記念財団
 認定NPO法人瀬戸内オリーブ基金
 独立行政法人環境再生保全機構
 公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会
 公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団
 積水ハウス株式会社
 トヨタ自動車株式会社
 阪急阪神ホールディングス株式会社
 大阪府
 大阪湾沿岸域環境創造研究センター
 NPO法人ひとともしデザイン研究所
 <実行委員> 寺川 裕子 正阿彌崇子
 新田 章伸 辻 郁子
- 協働セミナー
 <登壇者>
 阪急阪神ホールディングス株式会社
 一般財団法人セブン-イレブン記念財団
 大阪湾沿岸域環境創造研究センター
 NPO法人サウンドウッズ
 <実行委員> 平田通文 小野 弘人
- 情報交流会
 <登壇者>
 箕面こどもの森学園
 あおぞら財団
 公益社団法人大阪自然環境保全協会
 パナソニックエコリレージャパン
 谷林業株式会社
 NPO法人里山倶楽部
 ジュゴン保護キャンペーンセンター
 やしろの森公園
 ひとまち元気カンパニー
 キタイ設計株式会社
 NPO法人棚田LOVER 's
 乙訓の自然を守る会
 株式会社ワイルドウィンド
 ECOまちネットワーク・よどがわ
 E-EGG
 自然体験活動団体「シニア種まき隊」
 里山サバイバルクラブ
 龍谷大学政策学部
 一般社団法人松南志塾
 兵庫丹波オオムラサキの会
 小さなアースティ実行委員会
 かもしかの会関西
 真庭市役所交流定住推進課
 NPO法人バイオマス丹波篠山
 NPO法人Peace&Nature
 <実行委員> 余部 衛 伊藤 かれん
 岡見 厚志 栗本 知子 正阿彌崇子
 田中 広樹 谷 茂則 辻 郁子
 なかたに みさこ 新田 章伸
 西川 阿樹 西村 牧子 久 隆浩
 平櫛 武 宮本 直樹 山口 進



特定非営利活動法人近畿環境市民活動相互支援センター（エコネット近畿）は、一般財団法人セブン-イレブン記念財団の助成を受け、様々な分野の環境問題解決に取り組む主体の支援を行うとともに、連携して環境の保全、生態系の維持及び持続可能で豊かな社会の実現を目指します。



NPO法人エコネット近畿

(特定非営利活動法人近畿環境市民活動相互支援センター)

〒530-0041

大阪市北区天神橋2丁目北1-14 サンプラザ南森町401

TEL : 06-6881-1133

FAX : 06-6949-8288

E-mail : jimukyoku@econetkinki.org

URL : <http://econetkinki.org>